

授業科目 地球環境論

【担当教員名】  澤口 晋一	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	○	○

【概要・一般目標：G10】  
地球環境問題の中から地球温暖化問題、オゾン層の破壊、生物多様性、原子力発電について取り上げ概説する。前3者については、その現象とメカニズム、国際社会の取り組みと成果、今後の課題について解説する。原子力発電については、核燃料サイクル全体像を解説を通じて、その問題を考える。

【学習目標】  
地球環境問題とは何かを多角的に認識するとともに、この問題に対して、自己の位置づけを市民としての立場から明確化すること。

回数	授業計画・学習の主題	SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	「地球環境」とは何か。システムとしての地球		講義
2	地球環境問題の原因と構造		講義
3	地球環境問題への国際社会の取り組みとその歴史		講義
4	地球温暖化の検証（温室効果ガスの大気中濃度、気温の推移）		講義
5	温室効果のメカニズム（温室効果を正しく認識する）		講義
6	IPCCによる将来予測（第四次評価報告書 報告書に基づいて）		講義
7	地球温暖化に対する国際社会の取り組みと日本（気候変動枠組み条約、京都議定書、締約国会議）		講義
8	第四紀の気候変動からみた現在の地球温暖化の位置づけ、人為的温暖化反対説について		講義
9	オゾン層の破壊1 地球大気とオゾン層		講義
10	オゾン層の破壊2 オゾン層保護に関する国際的取り組みとその成果		講義
11	生物多様性1 熱帯林の特徴と破壊 オゾン層の破壊2 北極と南極のオゾンホール、その推移とメカニズム		講義
12	生物多様性2 生物多様性とは何か		講義
13	地球環境問題としての原子力発電1 なぜ、地球環境問題なのか		講義
14	地球環境問題としての原子力発電2 核燃サイクルと放射性物質		講義
15	地球環境問題としての原子力発電3 放射性物質と被曝		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	温暖化の観測・予測及び影響評価 統合レポート「日本の気候変動と その影響」	文科省・気象庁・ 環境省・経産省	文科省・気象庁・ 環境省・経産省	2009・ダウンロード： <a href="http://www.env.go.jp/earth/ondanka/rep091009/full.pdf">http://www.env.go.jp/earth/ondanka/rep091009/full.pdf</a>
	平成23年度オゾン層等の監視結 果に関する年次報告書 第1部	環境省	環境省	2009・ダウンロード： <a href="http://www.env.go.jp/earth/ozone/o3_report/index.html">http://www.env.go.jp/earth/ozone/o3_report/index.html</a>
	生物多様性とは何か	井田徹治	岩波書店	2010・720円
	原子力発電で本当に私たちが知り たい120の基礎知識	広瀬隆、藤田祐 幸	東京書籍	2000・1,600円
その他の資料				

【評価方法】 試験	【履修上の留意点】 上記2点の資料を明記したアドレスからダウンロードして出来ればカラーで印刷しておくこと。
--------------	----------------------------------------------------------